

# 女性労働通信

発行 女性労働問題研究会 NO.63 2021/5/5

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9F

(事務局) 株式会社 毎日学術フォーラム

Tel 03-6267-4550 Fax 03-6267-4555

E-mail maf-ssww@mynavi.jp HP <http://ssww.jp/>

## <目次>

- ・代表あいさつ……………P1
- ・CSW65事前勉強会……………P2
- ・緊急集会「官製ワーキングプアの女性たち コロナ後のリアル」を視聴して……………P3
- ・企画編集からのおしらせ……………P3
- ・常任委員会報告……………P4
- ・『女性労働研究』第65号発中……………P4

## 貧困、公務…相次ぐ働く女性の連携

代表 竹信三恵子

労働運動が沈滞していると言われます。ただ、新型コロナ禍の拡大下でのこの間の女性の動きを見る限り、必ずしもそうではないと思える兆しが見えてきています。

昨年暮れから今年初めにかけて、東京・新宿の大久保公園で、労組と反貧困団体の連携による「年越し支援・コロナ相談村」が開かれました。ここでは、相談者の5人に1人が女性でした。

年越し派遣村のとき、女性の相談者は5人と言われていましたが、コロナ禍が女性を直撃していたことが、この相談にあたった女性たちの間で共有されました。それが同じく大久保公園で3月13、14日に開かれた「女性による女性のための相談会」に発展しました。

労組、女性相談、医療、メディアなどで女性の問題にかかわってきた女性たちや女性の弁護士、社会保険労務士、税理士などが幅広く連携し、多角的な女性相談を行なえる体制をつくり上げました。

「女性だけ」となったのは、女性の労働問題が男性とは異なる様相を帯びているからです。女性にとって、DVやセクハラ、子どもや家庭の問題は、働けるかどうかに関係、影響してきます。とすれば、女性相談と労働相談と貧困相談を結び付けて行う場は不可欠だったのです。

また、3月20日には、全国の非正規公務員の女性たちを結ぶ緊急オンライン集会「官製ワーキングプアの女性たち コロナ後のリアル」が開かれました。

昨年4月から始まった「会計年度任用職員」制度は、それまであいまいだった非正規公務員の1年有期化を固定化・合法化しました。その4分の

3は女性です。コロナの拡大が急ピッチで始まった昨年3月、「エッセンシャルワーカー」と呼ばれて窓口などでの住民相談や介護、保育、学童保育などで住民たちを支え続けた女性たちの多くが、同じ3月末、1年の期限切れを理由に仕事を失いました。

「コロナと会計年度の二重の惨劇」と呼ばれたこの体験を経て、その検証のため、今回の緊急シンポは開かれました。そして、その成果を継続するため、企画したメンバーを中心にホームページ<https://nrwwu.com/>が立ち上げられ、「公務非正規女性全国ネットワーク」(略称「はむねっと」)も近く発足します。

コロナ禍は、普段は当たり前すぎて意識できなかった女性への軽視・蔑視、その立場の危うさを、突き付けました。一生懸命働いてきたのに、感染症の拡大を機に安全ネットもなしに困窮に追い込まれる女性や、公務の一線を担いながら簡単に職を打ち切られる官製ワーキングプアの女性たちをつなぐ支援と連携の鎖が、ここに生まれました。

私は、この二つの企画に中心にかかわってきました。これらの輪を鎖のようにつなげて、働く女性一般の広いネットワークづくりができればと願ったからです。本研究会のセミナーとして今年9月に開かれる日韓働き方改革をめぐる女性シンポが3つ目の鎖の輪になれるよう、みなさんのご協力を切に、お願いします。



## CSW65直前勉強会

小林三津子(会員・JAWW事務局長)

3月10日、JAWW(日本女性監視機構)はCSW65(第65回国連女性の地位委員会)直前勉強会をオンラインで開催した。JAWWは毎年CSWのテーマを深めるための勉強会を開催してきたが、特に直前勉強会というのは会期開始の直前にCSW参加者へのガイドや情報交換も兼ねたものだ。3月15日から始まるCSW65は開会式および閉会式を除き国連の会議、サイドイベント、NGOのイベントも含めてすべてバーチャルで行われることが決定されており、直前勉強会もウェビナーで開催した。プログラムは以下の通り。

1. CSWが果たした役割と限界  
橋本ヒロ子 (JAWW役員)
2. CSW65について  
田中由美子 (城西国際大学招聘教授)
3. CSW65公式文書  
福島有子 (国際婦人年連絡会)
4. JAWW/国連NGO国内女性委員会/国際婦人年連絡会/国連日本政府代表部共催サイドイベント “We Need Women Leaders in Politics: Better Society, Strong Democracy”  
三浦まり (上智大学教授/パリテ・アカデミー共同代表)
5. CSWおよびGeneration Equality Forumにおけるユースの参加  
山口慧子 (日本YWCA、Generation



Equality Youth Task Forceメンバー)

### 6. NGO パラレル・イベントの紹介

石川美幸 (JAWW役員)

今年は政府代表団が結成されないため、ここ数年CSW日本政府代表を務めている田中由美子さんの肩書に代表の文字がない。JAWWは2009年から他の2NGOおよび国連日本政府代表部とともにCSWでサイドイベントを実施してきたが、CSW65では優先テーマ「ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメント達成のための女性の公的領域における完全かつ効果的な参加と意思決定及び暴力根絶」を受けてサイドイベント「必要なのは女性の政治リーダー! ~よりよい社会と強靱な民主主義に向けて~」を3月22日に開催した。プログラム4ではそのコーディネーターである三浦まりさん自ら、イベントの目的や意義を語ってもらった。

直前勉強会には約200名、そしてCSW65のサイドイベントには約300名、どちらもリアルで実施する場合のおよそ3倍の参加者があり大成功であった。

当日の資料等はJAWWウェブサイト [www.jaww.info](http://www.jaww.info) をご参照ください。

## 第36回女性労働セミナー

9月12日(日)13時30分~17時30分

オンラインで開催

テーマは、

「ジェンダー視点で考える日韓の〈働き方改革〉とコロナ禍の女性労働」

▼詳細は後日チラシでお知らせします。

▼オンライン開催と日韓両国間で通訳が必要です。専門の会社にお問い合わせすることになりました。費用もかかります。会員の皆さまには寄付をお願いすることになります。詳細は、次号の通信でお知らせします。

## オンライン 読者会

2021年5月29日(土)14時~16時

テーマ:全国一律最低賃金制確立をめざして

【プログラム】

★中澤 秀一さん(静岡県立大学教員)

「今、全国一律最低賃金は」(No.64から)

★渡辺 利賀さん(全国生協労働組合連合会)

「全国一律最低賃金1500円以上を

目指す生協労連」(No.65から)

★コメンテーター北口明代さん(全国労働組合総連合)

## オンライン 2020年度研究例会

2021年7月31日(土)14時~16時

テーマ:『「働き方改革」の達成と限界

—日本と韓国の軌跡をみつめて—』

【プログラム】

★横田 伸子さん(関西学院大学教員)

「韓国における女性非正規労働者の組織化

…最近の韓国の運動から何を学ぶか…」

## 緊急集会「官製ワーキングプアの女性たち コロナ後のリアル」をオンライン視聴して

伊藤 セツ (副代表)

2021年3月20日、『女性労働研究』No.65の読書案内で、本間重子さんが書いている、当会代表竹信三恵子さん等が編集した『官製ワーキングプアの女性たち』（岩波書店、2020）に収録されたシンポジウム（2019年9月）の第2弾ともいえるべき「緊急集会 官製ワーキングプアの女性たち コロナ後のリアル」が、東京千代田区のスペースたんぼぼで行われた。当会も賛同団体となり、私はオンラインで視聴した。

会場の全体の様子は分からなかったが、パソコ



ンの画面では視聴者400名を超え、大盛会であった。

瀬山紀子さんの司会で進められた次のプログラムをみただけでも、内容の充実ぶりを理解していただけるだろう。

◆第一部 基調報告：官製ワーキングプアの女性たちのコロナ後：竹信三恵子さん・上林陽治さんのお二人

◆第二部 現場からの報告：婦人相談員／女性関連施設職員／キャリアコンサルタント／ハローワーク非常勤 職員／学童保育指導員／学校図書館司書／社会教育施設（住民の立場から）など。

◆第三部 リレートーク：官製ワーキングプア問題を社会全体で考えるために 民間シェルター／民間委託問題／民間非正規など。

この緊急集会をスタートにホームページも開設されそこからYoutubeでも視聴できるので、当日参加できなかった方は是非ご覧いただきたい。この先も、繋がって、情報の収集と発信を目指しているとのことである。

なおホームページは、Non Regular Worker/Women United（非正規労働者／女性連帯）の頭文字を取り、「NRWWU」としている。

長時間であったが、見事な運営ばかりでなく、この緊急集会が立派なホームページに結実して、先の活動に繋げる基盤となったことにも拍手を送りたい。

## ★企画編集からのお知らせ★

3月30日『女性労働研究』第65号が発行となりました。

皆さまには既にお読みいただいていると存じます。是非、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。昨年、コロナ禍で中止としました読者会は64・65号に関わるテーマとして、「全国一律最低賃金」を取り上げ、5月29日(土)にオンラインで開催いたします。

また、研究例会も7月31日(土)にオンラインで開催いたします。こちらは9月のセミナーの予習を兼ねた内容です。

同封のチラシをご覧ください、読者会・研究例会とも多数の参加をお願いいたします。

編集委員会では、これから『女性労働研究』第66号の企画作業に入ります。「書評・読書案内」で紹介したいとお思いの書籍がありましたら、ご連絡下さい。会員の著書が対象ですが、それ以外でも、是非紹介したいとお思いのものがありましたら、ご連絡をお願いいたします。

「ニュースレター」では、全国の皆さまの声を募集しています。日頃考えている事、研究テーマ、地域での活動内容等を書いていただけませんか。

最後に、研究会誌の企画、編集に関心をお持ちの方、来年度の編集委員あるいは編集スタッフとしてとしてご参加下さい。

上記、連絡は <rsb42435@nifty.com> 池田、<isetsu2003@yahoo.co.jp> 伊藤まで。

## 第4回常任委員会報告

2021年3月30日(火) 19時～オンラインで開催。5人全員(竹信・伊藤・小島・池田・佐久間)参加。概要は次のとおりである。

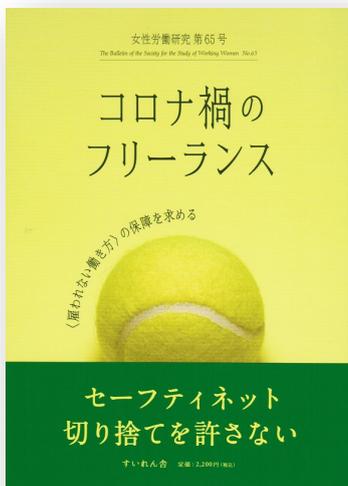
### 1 総務・財政から

- (1) 「女性労働通信」63号(4ページ)の発行発行予定は2021年5月連休明け。64号は、2021年7月ごろ発行予定(セミナー・総会お知らせ等)
- (2) 会員の会費未納者への対応＝分担しおねがいすることに。
- (3) 2021年度役員選考について  
役員選考委員会を立ち上げるか、常任委員会候補者の選考を協議するか、通信63号に、自薦他薦を含め「役員募集」を入れるかを今後検討。役員継続・希望・推薦・打診は、セミナー資金の募金と共に始める
- (4) その他  
総会はセミナーと切り離し、9月13日を基準日として昨年同様「書面総会」とする。

### 2 企画・編集から

- (1) 女性労働セミナーについて
  - 1) 進捗状況：1部はおおむね固まってきた。第2部の調整がある。4月23日(金)14時～オンラインで実行委員会を開催する。次回は5月中で調整中。
  - 2) 寄付の募集＝寄付などをどのようにして集めるか検討(振替口座がよいのか、銀行口座かなど)。
  - 3) 『女性労働研究』第65号の発行について  
会員への発送＝4月上旬
  - 4) 読者会、研究例会
    - ①読者会＝5月29日(土)オンラインで実施する。中澤秀一さん(会員・静岡県立大学教員)、渡辺利賀さん(全国生協労働組合連合会)に「最賃運動について」報告をお願い出来た。
    - ②研究例会＝7月31日(土)オンラインで実施する。内容は「『働き方改革』の達成と限界」(横田・脇田・和田編、関西学院大出版会、2021)の中の横田論文「韓国における女性非正規労働者の組織化」を中心にお話いただく。

# 『女性労働研究』第65号発売中



発行日:2021年3月30日  
編集・発行:  
女性労働問題研究会  
発売:株式会社すいれん舎

定価:2200円(税込)

## コロナ禍のフリーランス

### 〈雇われない働き方〉の保障を求める

- (巻頭) コロナ禍の女性労働とフリーランスの労働基本権 /竹信 三恵子  
(特集) 新型コロナと女性フリーランス〈雇われない働き方〉
- コロナ禍でのメディア関連フリーランスの実態  
ー子どもをもつフリーランスを中心にー /杉村 和美
  - コロナ禍でのフリーランス俳優の実態 /森崎 めぐみ
  - 生命保険業における営業職の雇用関係の形成  
ー利害関係者の働きかけに注目して /金井 郁
- (トピックス)
- 全国一律最賃1500円以上をめざす生協労連 /渡辺 利賀
  - 新型コロナ禍における飲食店非正規労働者の労働運動の展開とその基礎 /栗原 耕平
  - 北京+25+1を迎えてーJAWW NGOレポートとユース・レポート /小林 三津子
  - 『災害対応力を強化する女性の視点ー男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン』、その先へ /秦 好子
- ★法廷から ★マイ・ストーリー ★書評 ★読書案内  
★文化レビュー ★地域・職場から ★女性労働この1年  
★『女性労働研究』総目次No.51～No.64 他

## 『女性労働研究』をぜひ広めてください。

コロナの影響で学習会・勉強会などの機会が減り、会誌の販売が進んでいません。会誌の販売にご協力いただける方の連絡をお待ちしています。会員の皆さまの取り扱いは、会員価格となります。▼事務局まで連絡いただければお送りします。

電話 03-6267-4550 メール maf-ssww@mynavi.jp